

総裁のビジョン



この 60 年以上にわたり、アフリカ開発銀行は大陸の進歩を支える揺るぎない原動力として存在し、莫大な潜在力と深刻な課題を併せ持つこの地において、希望と変革の灯台となってきました。しかし、アフリカ開発銀行の成果を称える一方で、私たちは急速に変化する世界の只中にあります。度重なる危機によって各国政府の財政は大きく損なわれ、新たな課題が次々と現れています。人口動態の変化、破壊的なテクノロジー、世界金融の不安定化、そして気候変動という存続にかかわる脅威。こうした時代にあって、すべての機関は進化を迫られています。

1964 年、アフリカ統一機構（OAU）によって設立され、2024 年に創立 60 周年を迎えたアフリカ開発銀行は、常に経済・社会開発の推進役を担ってきました。当初は政府向け融資に重点を置いていましたが、持続可能な開発にはアフリカの資源と人材の総動員が不可欠であるとの認識のもと、民間部門の活力を取り込む包括的な戦略へと進化を遂げています。

無利子融資を通じて最も脆弱な国々を支援するアフリカ開発基金、そして自立的な資金源であるナイジェリア信託基金を包含する統合機関として、同行は現在 54 の域内加盟国と 27 の域外加盟国を擁し、その広範な会員基盤と数々の変革的プロジェクトによって大陸全体に消えない足跡を残してきました。現在の「High 5」フレームワークにおける「アフリカの電化」「食料増産」「工業化」「地域統合」「生活の質の向上」という 5

つの戦略的優先課題は、すでに約 5 億人のアフリカの人々の生活に影響を与え、汎アフリカ協力を推進するとともに、アフリカ連合のアジェンダ 2063 とも深く呼応しています。

しかしながら、私たちが成果を祝うその同じ時代に、開発金融の土台そのものが揺さぶられています。開発を「誰が」「どのように」資金提供するのかという根本的な課題、人口動態の変化、破壊的テクノロジー、世界金融の不安定化、気候変動の脅威。こうした現実の中で、あらゆる機関は変わらねばなりません。「High 5」の変革の精神は今後も息づきますが、今こそ銀行の焦点をより鋭くし、優先課題の実現に注力する時です。

本日私は、「四つの基本方針」と称する新たな戦略的ビジョンを提示します。この新しい枠組みは「High 5」を置き換えるものではなく、その理念をさらに洗練し深化させ、今日最も緊急に求められる 4 つの相互に結びついた優先課題に行動を集中させるものです。

1. 資本アクセスの拡大：アフリカの金融資源を動員する
2. 大陸の金融システム・制度・人材の改革と強化：アフリカの世界的な存在感を高める
3. 人口動態の変革を経済発展に活かす
4. 気候変動に強靱なインフラ整備と天然資源の高付加価値化

これら四つの基本方針すべてを支える基盤が、デジタル経済とテクノロジーの役割です。ここで提示する「四つの基本方針」は、世界が根本的に変化し、今後も変化し続ける時代に策定されたものです。これらの基本方針は、限られた資源の中で効率的な実行力を構築する機会を提供します。さらに、先に指摘した新たなリスクに対応するための行動を組み込み統合するための枢軸としての役割も果たします。

これまでの歩みの中でも、数々の重要な節目がありました。アフリカ開発銀行の授権資本は 2014 年の 940 億ドルから 2024 年には 3,180 億ドルへと拡大し、その規模と革新力を裏付けています。しかし、こうした進展にもかかわらず、掲げられた志と現実の能

力との間には依然として大きな資金ギャップが存在しています。アジェンダ 2063 や国際的に合意された目標を達成するためには、融資・投資能力を 3 倍に引き上げる必要があります。投じられる 1 ドルごとが、大陸の長期的な発展のために最大限に機能しなければなりません。この目標は抽象的な概念ではなく、具体的かつ緊急の必然であり、大胆で革新的な金融戦略と、緊密かつ協調的なパートナーシップの構築を要求するものです。

新たな戦略的航路に踏み出すにあたり、私たちは世界的な潮流がアフリカの運命を形作ることを認識しています。地政学的な環境が流動化している今だからこそ、アフリカがこの変化に適応し、世界の舞台で能動的かつ躍動的な存在として位置付けられるよう、洗練されたビジョンが必要なのです。

原文は[こちら](#)（英語）